

## 平成24年 第16回教育委員会会議録

### 1 日 時

平成24年12月18日（火）

開会 10時00分

閉会 10時28分

### 2 場 所

教育委員会室

### 3 出席した委員

金田清委員長、中村健一委員、八重澤美知子委員、横山真紀委員、橋正徹委員、木下公司教育長

### 4 説明のため出席した職員

宮崎良則教育次長、池廣厳雄教育次長、新屋長二郎教育次長、平阜敏彦教育次長兼学校指導課長、高松巧庶務課長、道端祐一郎教職員課長、坂井芳子生涯学習課長、中川智夫文化財課長、濱辺正実スポーツ健康課長

### 5 議案件名及び採決の結果

議案第36号 石川県生涯学習審議会委員の委嘱（任命）について （原案可決）

### 6 報告案件

報告第1号 高等学校連携による教育力向上推進事業第2回合同セミナーについて  
報告第2号 教職員の人事異動について

### 7 審議の概要

#### ・開会宣告

金田委員長が開会を告げる。

#### ・会議の公開・非公開の決定

議案第36号及び報告第2号は人事に関する案件のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項に基づき非公開とすることを、全会一致で決定。

・質疑要旨

報告第1号「高等学校連携による教育力向上推進事業第2回合同セミナーについて」

(平島教育次長兼学校指導課長説明)

資料の5ページをお開きください。この事業は、地域の中核となる高校8校が連携して、授業改善や進路指導体制等について研究や実践を進め、その研究成果を学校に還元し、教育力を高めることを狙いとしております。合同セミナーは、この事業の取組の中の一つでございます。合同セミナーにつきましては、既に第1回のセミナーを、8月6日、7日に、加賀会場と能登会場で4校ずつに分かれて実施しておりますが、それに続く第2回の合同セミナーを、12月15日土曜日、8校の生徒と教員が一同に会し、金沢西高校で開催いたしました。

資料の4ページをお開きください。当日、生徒は8校から229名、教員は参観者も含めて169名の総勢398名が参加しました。生徒は文系と理系に12クラスに分かれ、更に能登地区と加賀地区の生徒同士が交流できるように、それぞれのクラスの中で、8校の生徒混合のグループを組み、各90分間3コマの授業を行いました。文系クラスでは、国語、数学、英語の3講座、理系クラスでは、数学、英語、理科の3講座を開講し、入試問題等の難易度の高い問題を教材として、互いの意見を出し合って協議するペア・グループ活動や、実物投影機を使った意見発表などを授業に取り入れました。生徒からは、「他校の生徒と交流して視野を広げることができ、刺激になった」、「自分の意見を持つことの重要性和、それを筋道を立てて説明することが大切であると感じた」などの感想が、教員からは、今後の授業改善に向けた前向きな感想があげられております。

今後もこうした取組を通して、8校が、授業力向上や進路指導等について様々な知恵を出し合い、切磋琢磨し、学校の教育力が高まるよう取り組んでまいりたいと考えております。

以上でございます。

【質疑】

(八重澤委員)

どの学年の生徒を対象としているのか。

(平島教育次長兼学校指導課長)

2年生を対象としている。

(八重澤委員)

参加者は希望した生徒のみか。

(平島教育次長兼学校指導課長)

大半が自ら参加を希望した生徒であるが、学校から参加するよう促した者もいる。

(八重澤委員)

第1回合同セミナーを視察したが、今回参加した生徒はその時と同じか。

(平島教育次長兼学校指導課長)

前回参加した生徒が今回も参加し、使用教材の難易度を高めた。

(八重澤委員)

参加した生徒や教員にとって、貴重な体験になったと思う。

(橋正委員)

この事業はいつから実施しているのか。

(平島教育次長兼学校指導課長)

今年度、新たに実施した事業で、ニュースーパーハイスクール指定校及び金沢錦丘高校に次いで地域の中核となる、飯田高校、輪島高校、鹿西高校、羽咋高校、大聖寺高校、小松明峰高校、野々市明倫高校、金沢西高校の8校の交流により、各学校の教育力向上を図るものである。特に能登地区の学校の生徒は、従来他校の生徒と交流する機会が少なかったが、本事業を通して金沢地区や加賀地区の生徒と切磋琢磨することにより、チャレンジ精神や学習意欲の向上に繋がると期待している。また教員も、他校の取組に接することにより、意識改革が図られると期待している。

(橋正委員)

生徒と教師、それぞれにとって有意義な取組であると思う。

(平島教育次長兼学校指導課長)

今回は8校以外の教員も多数参観し、自校における授業改善に向けた課題について、国語、数学、英語、理科の4教科に分かれて意見交換を行った。各学校の問題点やその解決策について活発に議論が交わされるなど、非常に有意義だったと思う。

(横山委員)

生徒の感想から、前回からのステップアップが感じられる。参加した生徒や教員は、どのように成果を自校に還元しているのか。

(平島教育次長兼学校指導課長)

自校で周囲に経験を伝え、リーダー的な役割を担うことを期待している。

(中村委員)

非常に有意義な事業であると思うが、管理職を中心に上位校の教員と交流する場も設けてはどうか。レベルの向上を図るためには、上位校の状況を知ることも必要だ。

(木下教育長)

きっかけを与えれば、生徒は更に伸びる余地があるという印象を受けた。教員にとっても、組織内で研鑽を積む機会が少なかったものが、広い範囲で交流し、情報交換ができたという点で有意義であったと思う。また、中村委員ご指摘のとおり、8校間の交流に加え、ニュースーパーハイスクール指定校とも交流したい、あるいは、8校以外の学校からは、8校との交流を図りたいといった声もあり、多様な枠組みで学校間の交流が進むことを期待している。

(金田委員長)

レベル向上のためには、垂直交流と水平交流を上手く組み合わせることが大切だろう。難易度の高い問題を教材としたようだが、生徒達の問題に取り組む姿勢はどうだったか。

(平島教育次長兼学校指導課長)

前は途中で諦める生徒も多数いたが、今回は、最後まで諦めずに問題に取り組む姿勢が感じられた。

(八重澤委員)

確かに生徒達のモチベーション向上に寄与していると思うが、生徒の伸長を確認する客観的な評価を行うことも有意だと思う。

(金田委員長)

参加した生徒の男女比はどうか。

(平島教育次長兼学校指導課長)

若干男子生徒が多かったが、ほぼ同数だった。

(金田委員長)

以降の審議については非公開となるため、傍聴人の退席を促す。

議案第36号「石川県生涯学習審議会委員の委嘱（任命）について」（非公開）

坂井生涯学習課長が説明し、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

報告第2号「教職員の人事異動について」（非公開）

道端教職員課長が説明した。

・閉会宣告

金田委員長が閉会を告げる。